

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 愛の里 白寿荘作成日: 平成 25 年 09 月 17 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		今後のグループホームの在り方について	日常生活が出来て、共同生活が出来る方が、対象として開設したグループホームが、現在では、看取り支援を同じ職員体制で、実施することで周りのご利用者に、迷惑がかからないようにするための、介護サービスの在り方を検討していく。	職員の介護技術を均一にするために、内外の研修会を受講し、全員で知識を共有し、ご利用者の介護サービスが、均一に提供出来て自立支援に向けた、過剰なサービスをしないように話し合い、ご利用者やご家族が満足出来る体制を整えていく。	12ヶ月
2		現在入居中のご利用者の生活歴、楽しみ、興味、出来ること・出来ないことなどの把握を再度行う事で適切な援助を見直す。	・入居時に聞き取りした情報だけではなく、再度ご利用者、ご家族から新たな目線でお話を聞くことで、これまでの楽しみや興味、現在の状態を把握して、日常の過ごし方や対応を適切なものに出来るよう働きかけます。	意志疎通の可能な方は、日常生活を送りながら再度、今までの生活歴や思いを確認するよう努めます。意思を伝えることが困難な方については、表情や出来ること、出来ないことを再確認して、思い込みでの対応にならないよう心掛けていきます。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。